



みやぎNPO夢ファンド（B）ステップアップ支援プログラム  
平成22年度助成事業 最終報告書

担当者連絡先

団体名	World Open Heart		
連絡担当者お名前（ふりがな）	阿部恭子（あべきょうこ）		
担当者	電話	090-5831-0810	F A X 022-398-7129
	E-Mail	world.open.heart@gmail.com	

(B) (最終)

書式 4

受付番号

(事務局記入)

みやぎNPO夢ファンド（B）ステップアップ支援プログラム  
平成22年度助成事業 最終報告書

2011年 4月 30日

団体名	World Open Heart
事業名	犯罪加害者家族支援の拠点をみやぎに

助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。

(事業の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)

### (1) 事務所の開設

2010年12月より片平から引越し、大町2丁目に事務所を借りる。市民公益活動パートナーズさん、フェアトレード東北さんと共同の事務所。



WOHの活動に欠かせない、相談者のプライバシーを守るための個室も完備。外で他のスタッフが作業していることで、女性スタッフも安心して相談を受けられる環境。



机、椅子、電話、パソコンなど中古のものを寄付していただいたり、メンバーで持ち寄ったりできたことから大分経費を節減できた。

紙や文房具などの物品の寄付が多くあった。

メンバー一同心より感謝しております。



助成金を使って行った事業について、具体的にご記入ください。(続き)

(2) 事務所での個別相談

事務所での個別相談件数 2010年5月～2011年3月まで **51件**

加害者家族からの相談 **28件**

被害者からの相談、ハラスメント、いじめ、差別などの人権問題 **23件**

\* その他、マスコミの取材、講演先との打ち合わせ、関連団体の方との面会、加害者家族支援を研究したいという学生からの相談などで事務所が使用された。

☆ 個別相談利用者からの感想

落ち着いた環境で相談できる。即座に対応してくれるのがありがたい。

(2) 犯罪加害者家族ホットライン開設

2010年9月6日開設。

全国初の加害者家族ホットラインということで、テレビや新聞で取り上げられた。



毎週月曜9:00～12:00, 13:00～17:00

触法精神障害者家族専用ホットライン

毎月第一月曜日 18:00～21:00

年末年始特別ホットライン

12月29日～1月3日 13:00～18:00

電話番号 022-398-7129

相談件数 2011年3月まで **28件**

☆ 課題

固定電話の場合、スタッフに電話を受ける準備ができており、悩みについてじっくり話を聞くことができるようになった点ではいいが、情報提供を求めるような緊急の場合には不十分であることがわかった。緊急電話対応は携帯電話で随時受け付け、メンタルケアのひとつとして固定電話のホットラインにつなぐ方式を取ることにした。

(3) 犯罪加害者家族のためのわかちあいの集い

参加者数 毎回平均3人

金曜日の夜に設定したわかちあいは、参加者ゼロだった。毎回、参加者はリピーターであるが、数名が個別相談などを経験した上で新たに参加している。相談者の中で、わかちあいに参加するかどうかは、顧問と相談したうえでスタッフ側で判断、許可をするようにしている。

本年度の成果目標はどの程度達成できましたか。当初目標と比較して記入してください

●申請書に記載した成果目標

(1) 実態調査結果の発表、HP上などでの公開により、より多くの人に現状を伝えるとともに、司法、行政、教育現場などの関係各所に情報提供を行なう。

(2) 当事者への直接的な支援活動から支援方法のモデルを形成。ボランティアスタッフの養成講座によって支援者の育成を行なう。

(3) 地域のネットワークの構築。法曹、教育関係者、心理職、自助グループ、市民団体と定期的に意見交換会を行なうことによって、ネットワークを構築し、総合的な問題解決モデルを形成する。

●目標の達成度・団体に与えた効果

(1) 達成度80%

相談や問い合わせの件数が増えた。当事者だけでなく、関連団体のスタッフや法律、心理学を学ぶ学生、研究者などがインタビューに訪れることも増えている。矯正施設などからの講演依頼も来るようになった。

(2) 達成度80%

加害者家族に必要な支援は、直接的支援と間接的支援に分けられ、直接的支援とは、①弁護士の紹介、刑事手続きに関する説明などの情報提供、と②メンタルケア、③裁判所などへの付き添い活動、が含まれる。間接的支援とは啓発活動である。啓発活動によって、人々に理解を得ることは加害者家族が生きやすい社会を作るために必要であり、直接支援と同時に進められなければならないことがわかった。加害者家族支援が当たり前に行われている海外では、メンタルケア専門、情報提供専門などそれぞれを各加害者家族支援団体が行っている国もあるようである。WOHは、トータルコーディネートとして日本における加害者家族支援を進める方向性が見えてきた。

(3) 達成度80%

スタッフの増加により、ネットワークが広がり、各方面で関心を持ってくれる人々が増えた。また、シンポジウムを行なうことにより、フェアトレード東北、リレーションシップみやぎ、仙台ダルク、MCR家族支援センター、などの団体と連携ができた。また、法学部の学生や、大学の研究室とのつながりもでき、みやぎでの関連団体ネットワークは構築されつつある。

●本年度の事業を通じて、新たに見えてきた課題はありますか。

もしあれば、その解決に向けて必要なこととお書きください。

今年度はメディアに取り上げられる回数が増え、取材も増加したが、団体の宣伝をメディアに頼りすぎてしまったことが反省点である。HP上での活動の報告などが遅れてしまった。メディアに登場する場合、情報の受け手は不特定多数となり、多くの人に加害者家族の現状を知ってもらうことは非常に重要であるが、それと同時にピンポイントで支援を受ける加害者家族へ情報が行渡るような工夫が必要であると感じた。弁護士会や保護観察所、刑務所などの協力を得て、加害者家族と接する機関や人のところにパンフレットを置いてもらえるように働きかけるなど広報を工夫していきたい。

平成22年度の収支報告（具体的に記入してください）

**収入の部**

項目	予算（円）	決算（円）	備考
みやぎNPO夢ファンド助成金	1,000,000	1,000,000	
会費・寄付金	300,000円	168,231円	
その他助成金	700,000円	300,000円	ろうきんファンド 200,000円、ふくふ くファンド 100,000円
合計	2,000,000円	1,468,231円	

**支出の部**

項目	予算（円）	決算（円）	備考
賃借料	600,000円	440,000円	家賃4万×11ヶ月 44万円、
教育研修費	50,000円	50,305円	学会参加費13000 円書籍3990円研修 費33315円
通信費	400,000円	373,397円	固定電話8～3月 32408円郵便11250 円携帯電話4月～3 月233139円HP 96600円
旅費交通費	200,000円	215,351円	
水道光熱費	120,000円	32,006円	水道5月～11月 8320円電気6月 ～3月23,686円
会場費	15,000円	12,400円	3月5日6000円5月 26日1600円8月10 日800円12月4日 4000円
会議費	15,000円	2,000円	
謝金	100,000円	224,440円	3月5日シンポ参加 者8万円スタッフ 研修12万円その他

			24440円
印刷製本費	200,000円	47,915円	
消耗品費	200,000円	23,502円	
雑費	0円	2500円	イベント参加費
支払い手数料	100,000円	44,415円	家賃振込み315円 ×11ヶ月=3465 円、仲介手数料 40950円
合計	2,000,000円	1,468,231円	

平成23年度の事業計画・成果目標（助成継続団体のみ記入）

平成23年度	
事業計画	
この年の成果目標	

平成23年度の収支予算 (助成継続団体のみ記入)

収入の部

費目	金額	備考
助成金	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
計	円	

支出の部

費目	金額	備考
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
計	円	

経費についての補足説明 (内訳など)

--